

科目コード	33271	科目名	保育原理	単位	2
-------	-------	-----	------	----	---

次の設題について、それぞれ1,500字程度でレポートを作成してください。(2設題必答)

設 題 1

わが国における戦後の保育制度改革について、「保育要領」から始まる「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「認定こども園教育・保育要領」を年代順に示し、その要点を簡潔に説明してください。

— 作成の手引き —

- ・テキスト第4章第2節(4)「戦後における保育制度改革」に関する設題です。変遷の経緯と内容を分かりやすく簡潔にまとめましょう。
- ・配本テキストを熟読し、保育制度改革の流れ、改訂(改定)の内容をしっかりと理解しましょう。
- ・制度改革の背景にある子育て家庭の現状についても理解しましょう。
- ・告示、通知、刊行、改訂、改定の違いに留意しましょう。
- ・年代順に見出しや段落、改行を工夫し、分かりやすくまとめましょう。
- ・参考文献の記載方法について学び、配本テキスト、解説書、書籍、資料、論文等、参考にした文献等の必要な情報を文末に漏れなく記載しましょう。
- ・制度改革の流れ全体的に捉えるために図表を用いる場合は、文末(参考文献の前)に添付し、出典を明らかにしてください。
- ・テキストや参考文献そのままの表現を避け、自分なりの言葉で表現しましょう。

設 題 2

保育所の特性を生かした「家庭との連携」「子育て支援」について、具体的な方法や事例を交えてまとめてください。

— 作成の手引き —

- ・テキスト第2章第3節「家庭との連携」、第2章第3節「子育て支援」、保育所保育指針第1章1(1)「保育所の役割」、第4章「子育て支援」に関する設題です。テキスト、保育所保育指針を熟読し、「保育所の特性を生かした」「保育士の専門性を生かした」という点に留意しまとめましょう。
- ① 家庭との連携
 - ・家庭との連携の必要性について学び、まとめましょう。
 - ・家庭との連携方法や保護者との関係づくりについて、具体的な方法を交えて説明してください。
- ② 子育て支援
 - ・保育所における子育て支援の基本的事項(保育所の特性を生かした子育て支援、子育て支援に関して留意すべき事項)について学び、まとめましょう。
 - ・保育所を利用している保護者に対する子育て支援についてまとめましょう。
 - ・地域の保護者等に対する子育て支援についてまとめましょう。
 - ・テキストや参考文献そのままの表現を避け、自分なりの言葉で表現しまとめましょう。

参 考 書

- 1) 配本テキスト「保育原理」(平成30年)豊岡短期大学
- 2) 文部科学省「幼稚園教育要領解説」(平成30年)フレーベル館
- 3) 厚生労働省「保育所保育指針解説」(平成30年)フレーベル館
- 4) 内閣府、文部科学省、厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(平成30年)フレーベル館
- 5) 公益財団法人児童育成協会(監修)天野珠路・北野幸子(編集)「新基本保育シリーズ①保育原理」中央法規
- 6) 無藤 隆・汐見稔幸・砂上史子「ここがポイント!3法令ガイドブッケー新しい『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』の理解のために」(2017年)フレーベル館

【学習の目的・ねらい】

<設題1のねらい>

繰り返されてきた保育制度改革の歴史、変遷は、その時々時代の背景を反映し、今必要な乳幼児期の育ちを前提に見直されてきました。保育制度の変遷を時代背景とともに学ぶことは、子育て家庭を取り巻く現状を知り、子ども一人ひとりに気持ちを寄せ、保護者一人ひとりに気持ちを寄せ、想いと願いをもって共に育ちあう関係性につながります。

<設題2のねらい>

家庭との連携の必要性と具体的な方法が理解でき、実践に結び付けて考えることができることは、子どもの育ちを家庭と共有し、子育てに悩む保護者の支援にも直結します。また、地域に暮らす子育て家庭の支援も含め、保育所に求められている子育て支援の必要性を理解することは、子ども一人ひとりの最善の利益を考えることにもつながります。

【学習の進め方】

配本テキストの第1章から第6章まで順に読み、さらに『保育所保育指針解説』の関連部分も合わせて読みましょう。保育の原理に関する他の図書、資料や論文等にも目を通し、学びを深めた上でレポート作成に取り組みましょう。

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 保育とは | 3. 保育の質を高めるための方法 |
| (1) 保育の意義 | (1) 望ましい未来をつくり出す力の基礎を養う |
| (2) 子どもの最善の利益を考慮した保育 | (2) 生活と遊びを通して総合的に行う保育 |
| (3) 家庭との協働 | (3) 保育における個と集団への配慮 |
| (4) 保育の社会的意義 | 4. 保育の思想と歴史的変遷 |
| 2. 保育所保育指針における保育の基本 | (1) 欧米の保育思想の展開と保育施設の発展 |
| (1) 保育の基本 | (2) わが国における保育の歴史的変遷 |
| (2) 環境による保育 | 5. 保育の制度 |
| (3) 発達に応じた保育 | (1) 保育所 |
| (4) 養護と教育の一体性 | (2) 幼稚園 |
| (5) 保育の計画と評価 | (3) 認定こども園 |
| (6) 子どもの健康と安全 | (4) 家庭的保育事業 |
| (7) 子育て支援 | 6. 保育の現状と課題 |
| (8) 保育士の専門性 | (1) 日本の保育の現状と課題 |
| | (2) 諸外国の保育の現状と課題 |

【学習のポイント等】

<レポート設題での学びを通して保育現場の様々な問題について課題意識を持ちましょう>

- ・我が国の保育・幼児教育の歴史を知り、現行の「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の改訂（改定）の背景や経緯、方向性や要点についても理解しましょう。
- ・日本の保育の現状について学ぶ気持ちを向けることは、実践の場での小さなやり取り（家庭との連携や支援）につながります。テキストや解説書、参考文献で述べられている一つひとつに、課題意識と温かな想いをもって学び取りましょう。
- ・保育の現場は、人が人と関わり言葉を交わし、子どもたちや保護者と共に保育者も育つ場所です。学びの機会を大切に、学ぶ姿勢を持ち続けていきましょう。
- ・実践の現場では、記録を残す、連絡帳を書く、お便りを作成する、家庭連絡をするなど、言葉で想いを伝える、考えをまとめる、文章で状況を伝えるといった業務がたくさん存在します。保育者に求められる大切な専門性の一つでもあります。レポート作成や試験を通して、「問われていることを理解し、自分の言葉でわかりやすく伝える」という学びを積み重ねてください。

令和4年度 レポート評価票

科目コード	33271	科目名	保育原理	設題番号	設題 1	単位数	2
-------	-------	-----	------	------	------	-----	---

学籍番号		所属	※ 兼習学習者のみ記入				
氏名		専攻	幼児専攻	保育専攻			
提出回数	初回	再提出	<input type="checkbox"/> 不合格レポートは添付しません ※ 前回レポートが旧設題・紛失の場合のみチェックを入れてください				

⑨ 1科目に2設題以上の出題がある場合、どちらか片方の設題のみの提出は認めません。再提出の場合は、前回提出レポートを添付している場合のみ、不合格設題を修正したものを提出することが可能です。再提出の際に、前回提出分から設題変更になっている場合、もしくは前回提出分を一部でも紛失した場合は、科目ごとの設題すべてを再作成し、「不合格レポートは添付しません」にチェックを入れてください。

評価	合格	不合格 (再提出)	添削者
【論文作法】※2つ以上(C)評価に該当した場合は再提出となります。			
評価規準	良く書けている(A)	もう少し(B)	要書き直し(C)
論文作法① 文章量が適切である。	<input type="checkbox"/> 指定された文字数を満たして書かれている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 指定された文字数の 8 割以上を満たしていない。1,650 字を超えている。
論文作法② 参考にした文献を情報の不足なく書くことができる。	<input type="checkbox"/> 参考文献がテキストを含めて 3 つ以上あげられており、かつ必要な情報に漏れがなく書き方も適切である。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 参考文献がテキストを含めて 3 つ以上あげられていない。もしくは必要な情報に漏れがあり、書き方も不適切である。
論文作法③ フォーマルなレポートに適した文体、正確な文字で書くことができる。	<input type="checkbox"/> レポート全体を通じて、文体が統一されており、レポート用紙の使い方が適切で、丁寧な文字で書かれている。さらには誤字脱字も見られない。	<input type="checkbox"/> 文体の統一、レポート用紙の使い方、丁寧な文字、誤字脱字の 4 つの項目において 2 つ以内の不備が見られる。	<input type="checkbox"/> 文体の統一、レポート用紙の使い方、丁寧な文字、誤字脱字において 3 つ以上の項目での不備、または、1 つ以上の項目において著しい不備が見られる。
論文作法④ 正確に読み手に伝わる文章表現ができる。	<input type="checkbox"/> レポート全体を通じて、正しい文法で、文意が通じやすい表現で書くことができている。また、工夫した表現も見られる。	<input type="checkbox"/> レポート全体を通じて、流れを妨げるような文法上の間違いが少なく、文意が比較的通じやすい。	<input type="checkbox"/> レポート全体を通じて、流れを妨げるような文法上の間違いが多く、読み手に正確に伝わる表現で書かれていない。
【内 容】※1つ以上(C)評価に該当した場合は再提出となります。			
評価規準	良く書けている(A)	もう少し(B)	要書き直し(C)
内容① 幼稚園教育要領の変遷が漏れなく述べられ、背景や保育内容、要点などが簡潔にまとめられている。	<input type="checkbox"/> 幼稚園教育要領の刊行と 5 回の改訂が漏れなく述べられ、改訂の背景や見直された保育内容、要点などが簡潔にまとめられている。	<input type="checkbox"/> 幼稚園教育要領の刊行と 5 回の改訂に漏れがある。改訂の背景や保育内容、要点などの説明が不足している。または曖昧な理解のもと述べている。	<input type="checkbox"/> 幼稚園教育要領の刊行と 5 回の改訂に漏れがあり、改訂の背景や保育内容、要点などが述べられていない。または間違った理解のもと述べている。
内容② 保育所保育指針の変遷が漏れなく述べられ、背景や保育内容、要点が簡潔にまとめられている。	<input type="checkbox"/> 保育所保育指針の刊行と 4 回の改訂(改定)が漏れなく述べられ、改訂(改定)の背景や見直された保育内容、要点などが簡潔にまとめられている。	<input type="checkbox"/> 保育所保育指針の刊行と 4 回の改訂(改定)に漏れがある。改定(改定)の背景や保育内容、要点などが不足している。または曖昧な理解のもと述べている。	<input type="checkbox"/> 保育所保育指針の刊行と 4 回の改訂(改定)に漏れがあり、改訂(改定)の背景や保育内容、要点などが述べられていない。または間違った理解のもと述べている。
内容③ 認定こども園教育・保育要領の告示、改訂について述べられている。認定こども園が設立された背景について併せて述べられている。	<input type="checkbox"/> 認定こども園教育・保育要領の告示、改訂について述べられている。設立となった背景、主な論点 3 点が具体的に述べられている。	<input type="checkbox"/> 認定こども園教育・保育要領の告示、改訂について述べられているが、設立となった背景、主な論点 3 点が具体的に述べられていない。または曖昧な理解のもと述べている。	<input type="checkbox"/> 認定こども園教育・保育要領の告示、改訂について述べられていない。設立となった背景、主な論点 3 点にも触れられていない。
内容④ 同時改訂(改定)となった幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の共通項目 3 点がある。	<input type="checkbox"/> 2017(平成 29)年同時改訂(改定)となった幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の共通項目について、3 点以上あげられている。	<input type="checkbox"/> 共通項目が 1 点または 2 点のみあげられている。共通項目についての理解が曖昧である。	<input type="checkbox"/> 共通項目があげられていない。または間違った理解のもと述べている。

【その他指摘事項】

--

令和4年度 レポート評価票

科目コード	33271	科目名	保育原理	設題番号	設題 2	単位数	2
-------	-------	-----	------	------	------	-----	---

学籍番号		所属	※ 兼任学習者のみ記入				
氏名		専攻	幼児専攻	保育専攻			
提出回数	初回	再提出	<input type="checkbox"/> 不合格レポートは添付しません ※ 前回レポートが旧設題・紛失の場合のみチェックを入れてください				

⑨ 1科目に2設題以上の出題がある場合、どちらか片方の設題のみの提出は認めません。再提出の場合は、前回提出レポートを添付している場合のみ、不合格設題を修正したものを提出することが可能です。再提出の際に、前回提出分から設題変更になっている場合、もしくは前回提出分を一部でも紛失した場合は、科目ごとの設題すべてを再作成し、「不合格レポートは添付しません」にチェックを入れてください。

評価	合格	不合格 (再提出)	添削者
【論文作法】※2つ以上(C)評価に該当した場合は再提出となります。			
評価規準	良く書けている(A)	もう少し(B)	要書き直し(C)
論文作法① 文章量が適切である。	<input type="checkbox"/> 指定された文字数を満たして書かれている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 指定された文字数の8割以上を満たしていない。1,650字を超えている。
論文作法② 参考にした文献を情報の不足なく書くことができる。	<input type="checkbox"/> 参考文献がテキストを含めて3つ以上あげられており、かつ必要な情報に漏れがなく書き方も適切である。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 参考文献がテキストを含めて3つ以上あげられていない。もしくは必要な情報に漏れがあり、書き方も不適切である。
論文作法③ フォーマルなレポートに適した文体、正確な文字で書くことができる。	<input type="checkbox"/> レポート全体を通じて、文体が統一されており、レポート用紙の使い方が適切で、丁寧な文字で書かれている。さらには誤字脱字も見られない。	<input type="checkbox"/> 文体の統一、レポート用紙の使い方、丁寧な文字、誤字脱字の4つの項目において2つ以内の不備が見られる。	<input type="checkbox"/> 文体の統一、レポート用紙の使い方、丁寧な文字、誤字脱字において3つ以上の項目での不備、または、1つ以上の項目において著しい不備が見られる。
論文作法④ 正確に読み手に伝わる文章表現ができる。	<input type="checkbox"/> レポート全体を通じて、正しい文法で、文意が通じやすい表現で書くことができている。また、工夫した表現も見られる。	<input type="checkbox"/> レポート全体を通じて、流れを妨げるような文法上の間違いが少なく、文意が比較的通じやすい。	<input type="checkbox"/> レポート全体を通じて、流れを妨げるような文法上の間違いが多く、読み手に正確に伝わる表現で書かれていない。
【内容】※1つ以上(C)評価に該当した場合は再提出となります。			
評価規準	良く書けている(A)	もう少し(B)	要書き直し(C)
内容① 家庭との連携の必要性について述べている。	<input type="checkbox"/> 家庭との連携の必要性について十分理解し述べられている。	<input type="checkbox"/> 家庭との連携の必要性について述べているが、説明が曖昧である。または不足している。	<input type="checkbox"/> 家庭との連携の必要性について述べられていない。または間違った理解のもとで述べている。
内容② 家庭との連携、保護者との関係づくりのための具体的な方法を3つ以上あげ、述べている。	<input type="checkbox"/> 家庭との連携、保護者との関係づくりのための具体的な方法を3つ以上あげ、簡潔に述べられている。	<input type="checkbox"/> 家庭との連携、保護者との関係づくりのための具体的な方法が述べられているが、理解が曖昧である。または3つ以上あげられていない。	<input type="checkbox"/> 家庭との連携、保護者との関係づくりのための具体的な方法が述べられていない。または間違った理解のもとで述べている。
内容③ 子育て支援の基本的事項2項目、それぞれについて、具体的に述べている。	<input type="checkbox"/> 保育所の特性を生かした子育て支援、子育て支援に関して留意すべき事項について具体的に述べられている。	<input type="checkbox"/> 保育所の特性を生かした子育て支援、子育て支援に関して留意すべき事項について述べているが理解が曖昧である。または不足している。	<input type="checkbox"/> 保育所の特性を生かした子育て支援、子育て支援に関して留意すべき事項について述べられていない。または間違った理解のもとで述べている。
内容④ 保育所を利用している保護者に対する支援、地域の保護者に対する支援について述べている。	<input type="checkbox"/> 保育所を利用している保護者に対する支援、地域の保護者に対する支援について、十分理解し述べられている。	<input type="checkbox"/> 保育所を利用している保護者に対する支援、地域の保護者に対する支援について述べられているが、理解が曖昧である。または不足している。	<input type="checkbox"/> 保育所を利用している保護者に対する支援、地域の保護者に対する支援について述べられていない。または間違った理解のもとで述べている。
【その他指摘事項】			

科目コード	33271	科目名	保育原理	単位	2
-------	-------	-----	------	----	---

番号	試 験 問 題
1	<p>① 保育士に求められる専門性について、説明してください。 (主要な知識及び技術としての6項目、対人援助に必要な専門性)</p> <p>② 保育士に求められる専門性を踏まえ「目指す保育者像」について、自らの言葉で具体的に述べてください。</p>
2	<p>保育所保育指針第1章総則「4 幼児教育を行う施設として共有すべき事項」に示された以下の項目について、簡潔に説明してください。</p> <p>① 幼児教育において育みたい資質・能力(3つの柱)</p> <p>② 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)</p>
3	<p>保育現場における「養護」「教育」「養護と教育の一体性」についてそれぞれ具体的に説明してください。</p>

令和4年度 科目試験評価票

科目コード	33271	科目名	保育原理	問題番号	1
科目試験配点基準					
配点	評価規準	よく書けている(A)	おおよそ(B)	もう少し(C)	
5	作法① 丁寧な文字で、誤字・脱字が無く書くことができている。	丁寧な文字で、誤字・脱字が無く書くことができている。	もう少し丁寧な文字で書くことが望ましい。または、2 つ以内で誤字・脱字が見られる。	読みにくい文字が多い。または、3 つ以上の誤字・脱字が見られる。	
5	作法② 読み手に正確に伝わる文章表現で書くことができている。	読み手に正確に伝わる文章表現で書くことができている。	読み手に伝わりにくい文章表現が2 箇所以内で見られる。	読み手に伝わりにくい文章表現が3 箇所以上見られる。	
40	内容① 保育士に求められる知識及び技能としての6 項目を簡潔に説明している。	知識及び技能 6 項目すべてを簡潔に説明している。	説明が曖昧である。またはいくつかの項目のみ説明している。	知識及び技能 6 項目について全く触れられていない。	
30	内容② 保育者の対人援助に必要な「コミュニケーション技能」「カウンセリングマインドの視点」「人権感覚 倫理観」などについて説明できている。	対人援助に必要な保育者の専門性について具体的に説明できている。	対人援助に必要な保育者の専門性についての説明が曖昧である。説明が不足している。	対人援助に必要な保育者の専門性について説明できていない。	
20	内容③ 目指す保育者像が具体的な姿として述べられている。	目指す保育者像が具体的な姿として述べられている。	目指す保育者像が曖昧である。	目指す保育者像が述べられていない。	